

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームフォレスト柏木(さくらユニット)	評価実施年月日	平成20年1月5日
評価実施構成員氏名	大間 直子 工藤 幸子 本間はつ子 及川 隼 北野美智子 高田 肇 富岡るり子 藤井恵子		
記録者氏名	大間 直子	記録年月日	平成20年1月11日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	『住み慣れた地域の中で、心とむ生活を提供します。』と、理念の行の一部にあるように、その個々の方々の暮らしを支えていけるよう、努めていきたいです。		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	全体会議やユニット会議など、必要に応じて理念を確認しあう場面を設けております。		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	ホーム内の掲示板に理念を表示いつでも誰もが目に出来るようにしております。また利用者様のご家族様には入居時の際にもお伝えさせて頂いております。	○	地域の方々にお伝えする機会がなかなか無いので検討していきたいです。
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	暖かいときは近隣を散歩したりするので、こちらからの挨拶を心がけております。ホームにあるパークゴルフ場をどなたでも使って頂けるよう開放いたしております。	○	ホーム内でお茶とかに参加して頂けるような関係を目指したいです。
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	地域のお祭りやなどには参加させていただいています。	○	地域のお祭りなどには参加させていただいていますが、それほど多くは無いので今後、少しずつでも参加する機会をもっていきたいです。
<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	なかなか、そこまでの気配りができません。まずはホームで暮らしている利用者様の暮らしを個々のニーズをどれだけ答えているか、ニーズを見つけていけるか努力したいです。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>毎年評価があることで、改めて、日常を振り返る機械になり、評価の元改善、見直しをしております。</p>	○	<p>今回の評価も真摯に受け止め、利用者様の暮らしにいかせるよう見直し、改善をしていきます。</p>
<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>8 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議にて頂いた意見をホームに持ち帰り、サービスの向上に活かせるよう努めております。</p>		
<p>○市町村との連携</p> <p>9 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>分からないこと。迷うことをあれば連絡し指示を頂いております。</p>	○	<p>利用者様の生活をよりよいものにする為にもこれからも、連絡をこまめにとってまいります。</p>
<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>10 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修などに参加し、学ぶ機会をもうけております。</p>	○	<p>職員全員がしっかり理解したとまではなっておらず、今後全員学べるよう研修や勉強会に参加していきたいです。</p>
<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>11 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修などに参加し、学ぶ機会をもうけております。</p>	○	<p>職員全員がしっかり理解したとまではなっておらず、今後全員学べるよう研修や勉強会に参加していきたいです。</p>
4. 理念を実践するための体制			
<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>12 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>説明を行い十分理解・納得を得ている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>管理者室の扉は常に開けており、誰もが入りやすい空間になっていると思います。苦情対策委員の設置、外部への苦情の連絡先の掲示、ご意見投函ポストを設置しております。</p>	○	<p>より良い生活を援助できるよう、真摯に苦情を受け止め改善していきたいです。</p>
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>月に1度、『フォレスト通信』として利用者様の近況ホームの近況、そして金銭状況など発送させて頂いております。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>管理者室の扉は常に開けており、誰もが入りやすい空間になっていると思います。苦情対策委員の設置、外部への苦情の連絡先の掲示、ご意見投函ポストを設置しております。</p>	○	<p>より良い生活を援助できるよう、真摯に苦情を受け止め改善していきたいです。</p>
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体会議やユニット会議など、話し合う機会を設けております。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>通院や行事等に合わせて勤務調整を行っております。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>利用者の影響と、サービスの向上を考慮し職員の移動を行っております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	不定期ですが、ホーム内の研修の他、広域連合会の研修に参加させて頂いたり、他のグループホームさんに実習に行かせていただいたりしております。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	広域連合会の研修に参加させて頂いたり、他のグループホームさんに実習に行かせていただいたりしております。	○	今後も他のグループホームさんに実習に行かせて頂けたらと思います。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	問題点を話し合える場面作りや、勤務希望を取り、可能な限り連休などでリフレッシュできるように努めております。		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	研修などに参加し、外部の刺激を受けることにより、それが向上心に繋がるのではないかと考えております。	○	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	見学などの機会にご本人様にお話を伺うようにはしておりますが、100%の困っている事等を聞き出せているかと問われれば、なかなか難しく、ご家族様からも情報を頂けるようお話を伺っております。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	見学やお電話にてお話を伺っており困っていること、要望など聞き逃さないよう努めております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>お話を伺う際に望んでいることや、お話の中から必要とされている支援の見極めや、ホームでは対処できない支援(医療分野など)の場合は、お伝えさせて頂いております。</p>		
<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>26 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>今まで、場の雰囲気に馴染んで頂けるほどの見学をして、入居して頂いた事は無かったのですが、ホームとしてはいつでも可能なのでご家族様と相談しながら事を進めたいです。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>27 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>個人が持つ能力を発揮できるよう促がし、家事や生活していく空間の中で共に生活をしている事を考えながら日々を過ごしております。</p>		
<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>28 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>常のに何かがなくても面会時などに近況を報告し、助言していただいたり何気ないお話などを通して、ご家族様のお話しやすい環境とご本人様を支えていける環境作りを努めております。</p>		
<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>29 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>すでに関係が出来上がってしまっていることが殆どであり、無理なく双方に負担を掛けないよう努めております。</p>		
<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>いつでも面会に来ることが可能です。また、個人が大切にしている場所への訪問も行っております。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者様同士の関係に注意を払い、穏やかに楽しく過ごせるよう努めております。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退去された方には年に数回連絡を取り現在の状況を聞く様に心がけている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自らの希望をはっきりと訴えられる利用様は少なく、ご本人様の行動をから何が必要か何を望んでいるかを常に考え対応しております。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族にお話を伺ったり、すでに他機関を利用している場合はその機関から情報を頂きホームでの暮らしを楽しんでいただけるよう努めております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	ちょっとした話し合いを始め、記録に書きとめ情報を共有し、一人1人の過ごし方や心身状況の把握に努めております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	定期的な見直しの他に、必要時にケアの見直しを行い何を必要としているか、職員を始めご家族様などにも相談しより良いケアに繋がるよう介護計画を作成しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>37 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	<p>ホーム内で対応できない変化が生じた場合には、速やかに専門家の指示を受け、ご家族様と相談の元その変化に最も望ましい結論に結びつくよう努めます。</p>		
<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>38 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護日誌をつけ、利用者様の情報を収集し、現プランの実施した結果に基づき介護計画の見直しに利用しております。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>39 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
<p>○地域資源との協働</p> <p>40 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>	<p>それほど数は多くはありませんが、行事等にボランティアの方に参加して頂き場を盛り上げて頂いたり、お話や手作業を一緒にして頂いたりしております。</p>		
<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>41 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。</p>	<p>その都度連絡を取り合い支援をしている。</p>		
<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>42 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	<p>必要性がある時には話し合いを持ち密な連絡をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>43 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>法人の看護師に定期的、または必要時に診てもらってます。</p>		
<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>44 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>かかりつけ医に相談に相談したり、紹介していただいたりして認知症の治療を受けられるよう支援しております。</p>		
<p>○看護職との協働</p> <p>45 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>法人の看護師に定期的、または必要時に診てもらったり相談したりして、日常の健康管理をおこなっております。</p>		
<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>46 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>利用者様の入院時のご様子と早期退院に向かいお見舞いをかね、担当医から情報をいただいたりしております。</p>		
<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>47 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>契約時にご家族様にお話させていただいております。今のところそのような利用者様はおられませんがこれからは利用者様の状況に合わせて、必要時に改めてお話しする必要が出てくると思います。</p>	○	<p>利用者様、ご家族様、職員、医療機関との話し合いの場をもうけ治療やケアの方針を確認しホームでの暮らしを支えたいです。</p>
<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>48 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>重度や終末期に向けての支援は当ホームではまだスタートしたばかりの段階です。今後出来ること・出来ないことの見極めなど支援に向けて準備を整えていきたいと考えております。</p>	○	<p>出来ること・出来ないことの書式化を行う事により明確にご家族、ご本人に説明できるようにしたいです。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>すでに他サービスを利用されていた場合はその事業所からやご家族から情報を頂き少しでも住み替えによるダメージの軽減を図り、ホームで過ごしやすいよう努めております。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>利用者様の状況に合わせ、排泄誘導などの言葉掛けを工夫しプライバシーを損ねないよう努めております。</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>利用者様の言葉からだけでなく、表情や行動からも何を望まれているか考え、表現しやすいよう選択肢を用いたり、自ら自己決定を出来るよう促がしております。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>個々のペースや性格に配慮し、利用者様が例えば散歩がしたければ散歩に付き添ったり、一人になりたければ、無理に集団での手遊びに誘わないなど、心身共に健康状態に問題が無ければ、ご本人様のペースを大切にしております。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>パーマやカラーの希望に合わせ、ご本人が望むお店で理美容を行っております。服装もご本人様が好む色や形を考慮して買い足したり、誕生日などにプレゼントさせていただきます。</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>好みや食事摂取の状況により、食事形態をかえております。また、美味しく食べて頂けるよう食事の席を考慮したり、食事の後片付けなどを手伝っていただいております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>55 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>健康を害さない限りいつでもどれだけ摂取したかを記録に残し支援しておりますが、火事の心配や間接喫煙を望まれない方もいらっしゃいますので喫煙は決まった場所で、またライターとタバコの管理は職員のほうでさせていただきます。</p>		
<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>56 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>個人の排泄パターンを記録に残し、トイレに行きやすい声掛けを工夫したり、排泄前に現れる動作を見極め、排泄がスムーズに行う事ができるよう支援しております。</p>		
<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>57 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>毎日午後から入浴の時間をもうけております。入浴を好んでくださる方はもちろん、そうでない方にも入浴して気持ちよかったですと思っただけのよう、声掛けの工夫や、ゆず湯など行っております。</p>		
<p>○安眠や休息の支援</p> <p>58 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>消灯時間を設けてはいますが個室なのでご本人様の体調を損なわず、他の方の睡眠を妨げなければ自由に過ごしていただいております。また、夜間に不安になられる方もいらっしゃるため、少しでも早く不安を取り除けるよう、一緒に過ごしお話を伺ったり、気分転換になるよう暖かい飲み物などを摂取して頂いております。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>59 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>食器洗いや洗濯物たたみなどの家事を、個人の出来ること、役割として行っていただいております。</p>		
<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>60 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご家族様とも相談し可能であれば個人の希望と一緒にお金を管理させて頂くようにしています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	玄関を開放しているのでいつでも好きな時に屋外の散歩を楽しんで頂けます。近くに公園があったり、ホームの家庭菜園のお手伝いをして頂いたりして、屋外の空気を感じられるように努めています。また、お寺や美容室に行きたいなどの車で行かなくてはいけない場合も希望に沿って外出して頂いております。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	フォレスト通信にてご家族様に行事のお知らせを行い、果物狩りや日帰り温泉などに希望されるご家族様と一緒にっております。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	自分のお部屋に電話を引いたり携帯電話をお持ち頂けます。また、ホームの電話を使用して頂くことも可能です。操作が難しい方にはこちらからお手伝いさせて頂いております。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ホームに来られる方にはお茶を出し、一緒にお茶を飲んだり、タバコを吸ったりのんびりして過ごして頂けるよう努めております。また、泊まっていくことも出来ます。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	会議などをにて職員が拘束しないケアを勉強し理解し拘束しないケアを実施しております。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は全て開放しています。自分で帰って来れなくなってしまう方もいますので外に出て行く方には見守り、付き添いをさせて頂いています。夜間は防犯の為、玄関は施錠しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>様子を見られていると感じさせる事のないように、お手伝いをお願いしたり、お部屋で過ごされることの多い方には、お茶を届けたり、洗濯物を届けたりして所在や様子を把握するようしております。</p>		
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>食器洗剤などは一つの場所にまとめて扉のある棚にしまいどこにでも置かないように使った後は速やかにしまします。手を洗う洗剤も固形ではなく液体で壁に貼り付けるタイプにする事で事故を防ぎ誰もが使えるようにしています。</p>		
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>避難訓練や勉強会で知識を学ぶ機会を設けております。個人の状況に合わせてどんな事故が発生しやすいか検討し介護計画に繋げ事故防止に取り組んでいます。また、起きてしまった事故もヒヤリ・事故報告書に残し、事故を防げるよう会議にて検討します。</p>		
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>定期的に救命講習を受けております。また、考えられる急変においては緊急時対応マニュアルにて対応できるよう、職員が勉強する他職員が見やすいところに一部設置しています。</p>		
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>年二回避難訓練を行い、災害時の避難方法や連絡先などを確認しております。</p>		
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>面会時などに近況やプラン作成時にこのような事(リスク)が起きえるのと言う事をなるべくご家族様の不安をあおらないよう説明するようになっています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	個人の病状などに合わせバイタルを測定し、以上があった場合はホーム長をはじめ職員に速やかに伝え看護師の指示をもらいその場には介護日誌に残し、必要においては通院または往診にてドクターに診察していただいています。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局からもらう薬の用紙ファリングし、誰が何を服薬しているかいつでも確認できるようにし、受診日誌を作り、通院後は薬が変わってないか確認するようにしています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分を多くとってもらえる様午前と午後のおやつ以外の時間以外にも常に水分が取れるよう準備し、献立も個人によっては冷たい牛乳を出したりなどなるべく薬を使わなくても排便しやすいように心がけております。また、必要な方には排便チェック表にて便の状況の確認を行っています。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後の歯磨きになじみのない方にはうがいをしたり、お茶を摂取していただき口腔内に食残が残らないよう努めています。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事、水分摂取量をおやつなど介護日誌に残し、いづれだけ食べているか記録し体調管理に努めています。また、法人の管理栄養士に献立担当者への栄養指導と献立のチェックを行ってもらっています。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。	排泄物嘔吐物等を扱う時は必ず使い捨ての手袋を使用し、感染症に対する冊子を勉強し感染の予防に努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○食材の管理</p> <p>79 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>賞味期限、消費期限をまもり、調理前の手洗い、調理道具などの除菌、鮮度の落ちやすいものは、当日に買うか冷凍をし、新鮮な物を美味しく食べて頂けるよう努めます。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>			
<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>80 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>季節に応じた飾りつけや、ホーム全体を花や緑を多様し、玄関前や庭にはベンチを置き散歩の時に一休みして頂いたりしております。また、パークゴルフ場を開放しているので楽しんで頂いているかと思えます。</p>		
<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>81 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>緑に覆われた住宅街のなかにあり、外部からは不快な音や光はないと思いますが、利用者様の状況に合わせて、音楽やテレビのチャンネルを変えたり、飾りの照明を火と間違ってしまう方もおられますので、その辺を考慮し、飾り付けを行ってます。</p>		
<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>82 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>小さなダイニングと、大きめにリビングがあるので窓側とキッチン側に分かれて過ごしていただくことが可能です。また、事務所前、ユニットの一番奥にこのソファを置き疲れた時や一人になりたい時に使っていただければと思います。両ユニットは開放してますのでユニット間の行き来も自由に行えます。</p>		
<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>83 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所にあたり、出来るだけ今まで使っていた衣類、家具、装飾物等を持ってきて下さるようお願いし、使いやすいよう、危険のないよう配置しております。</p>		
<p>○換気・空調の配慮</p> <p>84 気になるにおいや空気のおよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>温度計、湿度計を使い調整を行い、掃除や必要時に換気をおこなってなす。消臭剤も使い不快なおいが早くなるよう気をつけております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>85 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ホーム内各所に手すりをつけ、トイレ、廊下も広く作られているので車椅子での移動もスムーズに行えます。ユニットの中心にリビングがあり、職員がそこから全体を見渡し、利用者様の状況を遠くからでも見守れるようにしております。</p>		
<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>86 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>何が出来るか、何が出来ないかを見際め、個人個人において分かりやすい言葉使い、使いやすい物品を使って頂き出来る力を発揮できるよう支援しております。</p>		
<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>87 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>リビングからも庭に出れるようになっており、家庭菜園での収穫を手伝ってもらったり、玄関前と庭にベンチを置き、一休みしながらのんびりと外の空気を季節感を感じられるよう援助しております。</p>		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない ②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ②

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ③
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ②
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ②
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない ③

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

食べることに力を入れてます。美味しいものを食べるのが好きという方は多いです、食事は一日三回あるので、三回を苦痛に過ごすより楽しく美味しく過ごしていただきたいと思います。季節を感じてもらう為に、季節の食材を季節ごとに必ず入れ、目で、味で感じてもらえ、これ美味しいね、これ〇〇(季節の野菜名)でしょと 思い出や、お話のきっかけになると、作ってよかったなと思います。そして冬場のパークゴルフ場をドッグランとして使えないかと検討中です。ホームにもビーグル犬のアトムがいます。もともと利用者様のワンちゃんでしたが、ホームで飼うことになりました。そこで看板犬のアトムもいることですし、常に開放はしますが冬場もドッグランとして使って頂けたら地域の方たちも、楽しんで頂けるのではと考えております。